

## 財産の状況

貸借対照表は、企業の財政状況を明らかにするため、保有する全ての資産、負債および資本を表示したも

のです。  
左の表は、平成25年3月31日現在の水道事業の貸借対照表です。

貸借対照表

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	79億8,643万円	流動負債	1億 2万円
有形固定資産 (建物、配水管、水道メーターなど)	79億8,643万円	未払金 (未払いの債務)	3,778万円
		前受金 (概算払いの水道料金)	4万円
		その他 (下水道料金預り金など)	6,220万円
流動資産	6億6,892万円	資本金	64億 904万円
預金現金	5億5,847万円	自己資本金 (建設改良積立金の取崩額など)	17億2,441万円
未収金 (未納水道料金)	1億 899万円	借入資本金 (企業債)	46億8,463万円
貯蔵品 (たな卸資産)	143万円	剰余金	21億4,629万円
その他流動資産	3万円	資本剰余金 (工事負担金など)	16億2,401万円
		利益剰余金 (減債積立金など)	5億2,228万円
資産合計	86億5,535万円	負債・資本合計	86億5,535万円

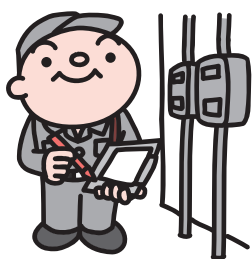
## 借入金状況

安定した水の供給を維持するためには、常に浄水場や配水管などの水道施設を整備しながら、これから施設更新時期を迎える水道施設を計画的に更新していく必要があります。

この整備には、多くの資金が必要となり、手持ちの資金だけでは賅うことができません。そこで、国などから資金を借り入れし、水道料金の一部を返済に充てています。水道事業では、この借入金を『企業債』と呼んでいます。

また、この借入金は、財政的負担の軽減や将来利用する市民にも公平に負担してもらうという目的も含め、長期の計画で返済しています。

平成24年度末現在で企業債の残高は、貸借対照表のとおり46億8千463万円、平成16年度以降減少が続いています。  
企業債を給水人口1人当たりで換算すると9万3千343円になります。



## 水道施設整備の状況

平成24年度に実施した主な工事は、次のとおりです。

区分	工事内容	事業費
送配水管新設工事	幹線となる配水管などを布設し、水道水の安定供給を図るための工事を行いました。	7,225万円
送配水管改良工事	赤水発生の解消や地震などの災害に強い水道施設の整備を図るため、老朽化した配水管の改良(更新)工事を行いました。	4,167万円
送配水管移設工事	道道の工事などに伴い、配水管の移設工事を行いました。	963万円
水道メーター取替工事	計量法で定められている水道メーターの取り替え(8年ごと)工事を行いました。	2,249万円
その他設備工事	浄水場の電気設備の一部の取り替えなどの工事を行いました。	372万円

水道事業の決算状況に関するお問い合わせは

水道グループ

☎ 05-5501

FAX 05-5805

Eメール [gyoumu@city.noboribetsu.lg.jp](mailto:gyoumu@city.noboribetsu.lg.jp)